

みんなで支え合い、ともに助け合う（まち）中田

# 中田活き活きプラン

地域福祉保健計画は、地域の課題を解決し、地域の支えあいによって誰もが安心して生活できるまちづくりを積極的に推進します。

自然が豊か。  
緑も多く気持ちの  
良いまち。

高齢者サロンや  
健康づくりの活動が  
活発で、顔の見える  
関係が増加。

子育てのネット  
ワークが盛んで、  
子育て支援が充実。  
乳幼児の子育てが  
しやすい地域。

障害者の施設が  
多く、日常的に  
障害者の人と地域の人  
があいさつを交わす  
関係がある。

地下鉄や  
幹線道路の  
整備が進み発展し、  
住民が増加。

中田ってこんなまち!



## 自然が豊かで、地域活動が盛んな住みやすいまち

近ごろ暮らしの中で気になること



- 高齢化で売却した土地に若い世代が多く転入
  - ・地域と関わりを持ちたいと思っているがきっかけがない
  - ・生活が大変で地域への協力がなかなかできない
  - ・町内会役員の世代交代も工夫が必要



近所づきあいの希薄化  
町内会活動の活性化が必要  
(担い手の確保)



- 中田地区の子ども達は全国的にも高いレベルで地域活動に参加しているが、学齢期の子どもの貧困など社会的な問題については地域に見えてきていない。



学齢期の子どもの問題



- 交通の便が悪く、移送サービスがない
- 近所の小さなお店が無くなった。
- 坂の上に住む高齢者は帰りの買い物が重くてつらい



買い物が不便な住民への  
支援が必要



- 隣近所で困りごとを相談できない
- 介護で困った時の相談先(ケアプラザなど)の周知など、情報伝達の工夫が必要



困りごとニーズを  
キャッチ、マッチングする  
仕組みがほしい



- 高齢になって足腰が弱くなり、外に出ない
- 高齢者の引きこもりで孤独死が心配
- 家族は認知症に気付きにくい。



健康寿命を延ばす必要がある  
(高齢になっても元気で暮らす)

## 目指すまちの姿



- みんなが声かけあって健康で活力があふれているまち
- 地域のすべての人がつながり、活躍できるまち
- みんなの小さな声をひろい、支え合い(つながり)、安心して住み続けられるまち

# 第4期計画の目標と取組内容（中田がこんなまちになったらいいな）

## 目標1 あいさつ・声掛けで顔見知りになることから始めよう！

### 取組内容

- ・向こう三軒両隣の関係を深め、近所づきあい、近所の見守り活動を推進します。
- ・支援を必要としている人（自ら言い出せない人）に根気よく声掛けしてつながります



## 目標2 身近な場所で健康づくりを進め、健康寿命を延ばそう！

### 取組内容

- ・次のような地域の資源や場を活かしながら、地域全体で健康づくりが進むよう、普及啓発を行います。

市民の森などの自然を活かした健康づくり

シニアクラブへの加入促進及び加入後のラジオ体操などによる健康づくり

高齢者サロンなど、高齢者の居場所づくり



## 目標3 地域の様々な情報を積極的に発信・共有しよう！

### 取組内容

- ・SNSやHPの活用、スマホを活用した情報伝達を進めます（情報ネットワークでつながるまち）。
- ・町会の中での取組を他の町会へも広げていきます（情報共有）。
- ・地域活動の情報（各種サロン、交流の場等）や防災・避難所の情報など、必要な人に必要な情報が行き届くようにします。



## 目標4 多様なつながりの中でみんなのチカラを集め、活かしあおう！

### 取組内容

- ・若い人の意見（企画）も取り入れながら地域活動をすすめていくことで、次の担い手の確保につなげます。
- ・異世代交流ができる仕掛けづくり（イベント等）を積極的に行います。
- ・地域の役員とともに、高齢・障害・子ども・援農など多様なボランティア活動者や地元の商店などにもまちづくりに参加してもらい、住民参加を広げます。
- ・ちょっとした困りごとを地域で助け合える関係づくりを進めます。



## 目標5 住民の暮らしの変化や地域に求めていることをしっかりキャッチしよう！

### 取組内容

- ・まちのこと、暮らしのことを何でも話しあえる場をつくり、「中田の今」を共有します。

# 第3期計画（H28～R2）の取組と成果



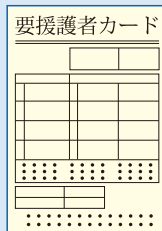
## 高齢者サロン活動

顔の見える関係が増え、情報の収集や助け合い等の支援につながっています。



## 地域の見守り活動

要援護者カードを配布し、一定の情報を集めることができました。また、中田地区としての助け合い組織の設立に向けて検討していきます。



## 親子サークル支援

子育てでサークルの母親を対象としたアンケートから、子育ての悩みや地域の人にサポートしてもらえたらありがたいと思っていることなどがわかりました。

## 公園遊び

「点」から「面」の活動へ広がってきています。シニアクラブの皆さんなど多くの方々と連携しながら、今後さらに取組を進めていきます。



## 障がい理解のための出前講座

様々な障がいのある人の理解を進めていくため、障がいのある人や家族が自ら発信する出前講座を開催しました。地域で暮らし、活動する障がいのある人と、そこに暮らす住民との交流を図るための取組を拡充していきます。